

藤沢市長 鈴木 恒夫殿

片瀬山一丁目自治会 会長 杉山直正  
片瀬山二丁目自治会 会長 犬塚洋二  
片瀬山三丁目自治会 会長 高橋秀治  
片瀬山四丁目自治会 会長 石毛宏幸  
片瀬山五丁目自治会 会長 井上 俊  
片瀬山防災会 会長 朝日眞道

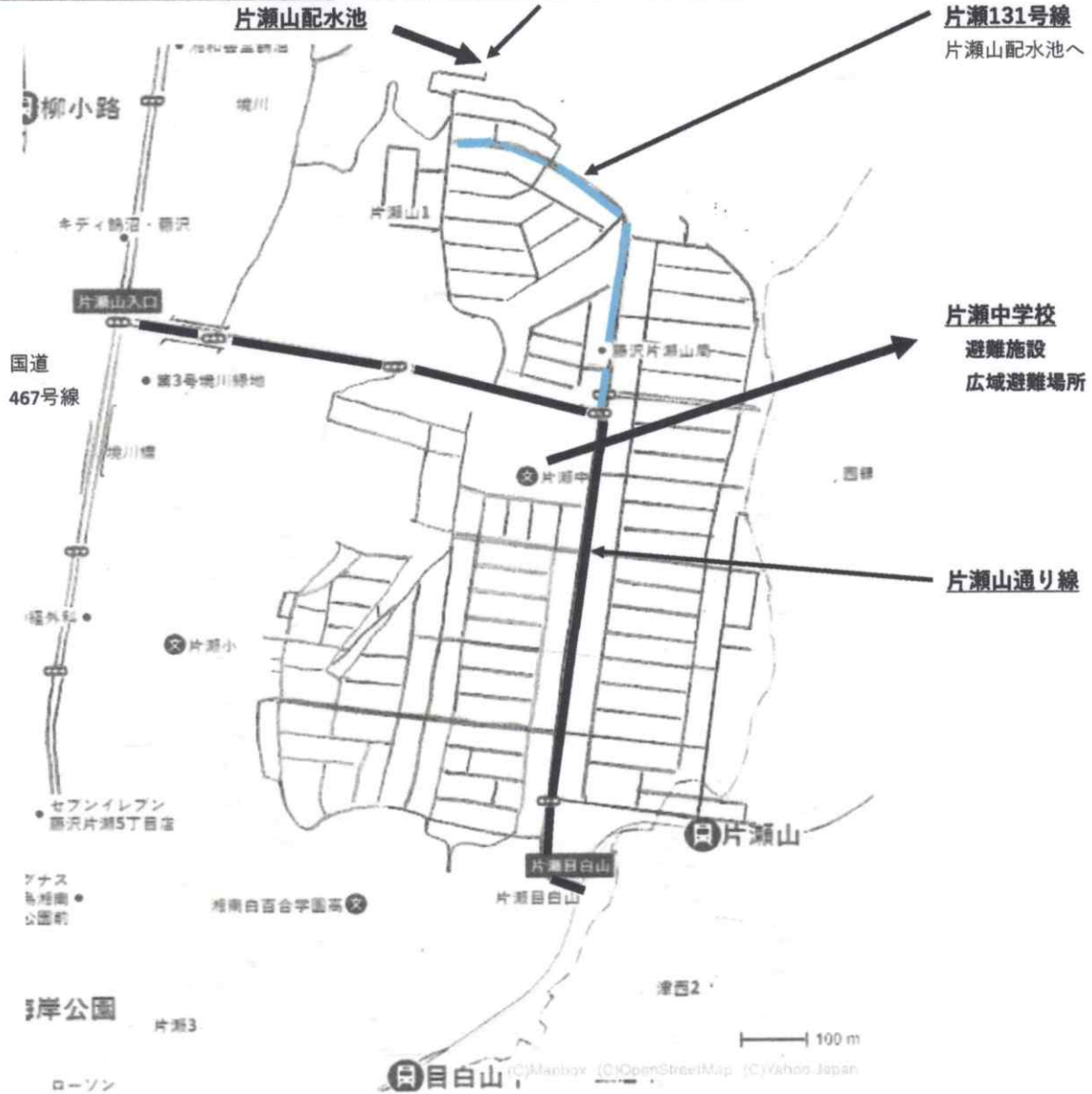
## 大災害時に備えた避難路確保の為の 「片瀬山主要道路の無電柱化」に関する要望書

表題の件、片瀬山通り線、及び片瀬131号線の「無電柱化早期実施」につき、「平成28年法律第112号」に基づき、片瀬市民センターにご相談の上、片瀬山一～五丁目各自治会長及び片瀬山防災会長の連名で、下記の通り要望させていただきます。

### 記

#### 1 要望概要

- (1) 「大津波警報が出た場合、徒歩で8分以内に到達できる水害避難所へ」が、市のご方針ですが、高齢者や、車椅子を使用する方々、更には観光客は、大型台風避難時も含め、やむを得ず車による避難が多数行われております。  
その為、災害時に於ける、片瀬地区や鵜沼地区の低海拔地域から、海拔約50mの水害避難所「片瀬中学校」付近への「避難基幹道路」の確保、及び「緊急車両通路」確保の為に、片瀬山通り線(次葉地図ご参照)を、
- (2) 又、市内給水拠点である「片瀬山配水池」と被災地・避難所間の「ピストン輸送道路」確保の為に、片瀬131号線(次葉地図ご参照)の「無電柱化の早期実施」を、片瀬地区他関連地域全体の「防災対策向上策」として、要望させていただきます。
- (3) 尚、モノレール目白山下駅から片瀬目白山間道路の無電柱化に関しては、藤沢市の想定基幹道路案の条件を満たしていないこと、そして片瀬山自治会領域外である為、本要望から除外させていただきます。
- (4) 亦、災害時に、別途危惧される「避難路崩壊(崖崩れ)」への備えは「請願24第2号」(2012.8既提出済)に基づき、藤沢市での対応が執られておられる事と存じます。



モノレール目白山下駅より広域避難場所である片瀬山公園への道

## 2 要望詳細

### (1) 要望背景

#### ア これまでの経緯

(ア) これ迄、片瀬地区地域、特に東浜・西浜近隣、及び境川流域にお住まいの方々、更には観光客は、大津波や大型台風等による洪水警報の際、海拔約50mに位置する片瀬山の藤沢市水害避難所「片瀬中学校」や「湘南白百合学園中学校・高等学校」を目掛け、度々避難して来られております。

特に片瀬中学校は、2019年10月の台風19号時の避難者数は市内最大であり、又、①避難施設②水害避難所③広域避難場所の3機能を備えた片瀬地区唯一の避難先でもあります。

#### 片瀬中学校での避難者実績（片瀬市民センター）

2019.10	台風19号	359人	
2019. 9	台風15号	6人	
2011. 3	東日本大震災	300人強	
		夜間も約150人	(2011.6 資料1)

(イ) その避難時には、実は、**多くの車**が片瀬中学校を目指して来られており、モノレール近傍の**広域避難場所「片瀬山公園」**には、残念乍ら、**駐車スペースがない**為、(前葉地図ご参照)、避難自動車は**龍口寺付近からそのまま片瀬目白山經由片瀬山通り線**で、又**県道467号フジスーパー付近からは、新屋敷橋より、片瀬山通り線**経由で、片瀬中学を目掛けて避難して来られております。

(ウ) 2019年10月の台風19号の時には、多くの方々が車で片瀬中学を目指された為、片瀬中学校はその整理に困難を極め、又、2011年3月の東日本大震災の際は、**避難弱者や、緊急避難者による多数の避難自動車**が、片瀬山通り線大阪にランダムに駐車し、**通行障害となり、大渋滞を引き起こし、緊急車両の通行に影響する大きな問題**となりました。

(エ) しかし、若し、この様な大災害時に、片瀬山通り線、即ち片瀬目白山から、フジスーパー付近まで、**障害物のない自由通行が可能となれば、多くの方々の避難、更には被災地・避難先への各種対応にも極めて有効**であると考えられます。

## イ 「通行障害問題」への片瀬山自治会の対応

(ア) その為、片瀬山自治会は、この避難時の問題解決に向け、片瀬山防災会が中心となり、東日本震災時の教訓を基に、片瀬山地区に、片瀬地区や他の地区の方々の避難自動車を、どうしたらより多く受け入れられるのか、又、道路上に多くの避難自動車の駐停車があったとしても、緊急自動車(ex.消防自動車：幅2.5m)の通行障害とならないように出来ないのかを議論し、意見集約をした結果、「片瀬山防災会だより」第27号(2015.12.20-資料2)、更には「片瀬山防災会だより」号外(2016.1-資料3)のように整理し、片瀬山住民の皆様に周知致しました。

(イ) 爾来4年以上経過した為、昨年9月には、「片瀬山防災会だより」第35号(2020.9.15-資料4)により、再度、災害時の避難自動車受け入れ策の周知徹底を、片瀬山住民の皆様に図ったところでございます。

## (2) 電柱倒壊による問題点

しかし、仮に、上記避難自動車受け入れ態勢が、十分に機能したとしても、大型台風による暴風雨や大型地震により、若し、片瀬山の基幹道路沿いの電柱が1本でも倒壊した場合、各方面からの避難自動車や、緊急自動車の走行が困難となり、歩行による避難行動自体にも大きな障害となり、更にはその啓開作業に多大な時間を要し、復旧作業の大幅遅延の原因となる事が想定されます。

その為か、国交省「H28年法律第112号」では、「緊急輸送道路での新規電柱占用は禁止」となっております。

## (3) 災害時の電柱倒壊実例

ア 2019年の台風15号では、電柱倒壊等により、93万戸が停電し、千葉県では復旧作業に時間がかかり、1週間の長きに亘り、停電が続いた地域もあったと報告されております。

### イ 災害時の電柱倒壊 実例；

1995. 1	阪神淡路大震災	約 4,500本	国土交通省(資料5)
2011. 3	東日本大震災	約28,000本	国土交通省(資料5)
2018. 8	台風24号	約 574本	経産省(資料6)
2019. 9	台風15号	約 1,996本	経産省(資料6)
2019.10	台風19号	約 1,242本	経産省(資料6)

の様に、これ迄の大災害時には、多くの電柱が倒壊し、復旧作業への阻害要因になったと仄聞しております。

(4) 台風での「無電柱化効果」の実際 (東電パワーグリッド社 資料7)

ア 2019年9月の台風15号による、架空線設備の被害状況は、

電柱倒壊・損傷	電線断線・混線	変圧器損傷
1,996本	5,529径間	431台

イ 一方、地中線設備(無電柱化設備)に於いては、地上機器が”僅か1台”損傷、または傾斜したのみ。

と、地中線設備(無電柱化設備)の台風耐性が極めて高い事が示されております。

### 3 国・県の方針

(1) 平成28年12月16日「法律第112号」(国土交通省) <無電柱化に関する法律> が交付・施行されました。 <11月10日：無電柱化の日>

その法律第112号では；

国は、「災害の防止、安全、円滑な交通確保、…の為、無電柱化の推進に関し、施策を総合的・計画的・迅速に推進し、…国民経済の健全な発展に貢献」と目的を述べ、その上で、「政府は必要な法制上、財政上又は税制上の措置その他の措置を実施」としております。

(2) 県も令和元年7月に「神奈川県無電柱化推進計画」を策定済。(神奈川県 県土木整備局)

4 更に加えて、片瀬山通り線沿いには、藤沢市全域対象の防災備蓄品が格納されている防災倉庫もありますので、当該線の無電柱化による通路確保は、市全体の防災面からも極めて重要な施策であると考えられます。

### 5 結言

以上の事から、「平成28年法律第112号」に基づき、片瀬地区他関連地域全体の「防災対策向上策」として、片瀬山通り線、及び片瀬131号線の「無電柱化早期実施」に格別のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

以上

要望代表者(連絡先)

片瀬山一丁目自治会会長 杉山 直正  
藤沢市片瀬山1-16-5 電話 0466-27-9028

片瀬山三丁目自治会会長 高橋 秀治  
藤沢市片瀬山3-7-17 電話 0466-77-5619